



資 料

令和5年度の事業報告について (水道事業)



第8回資料

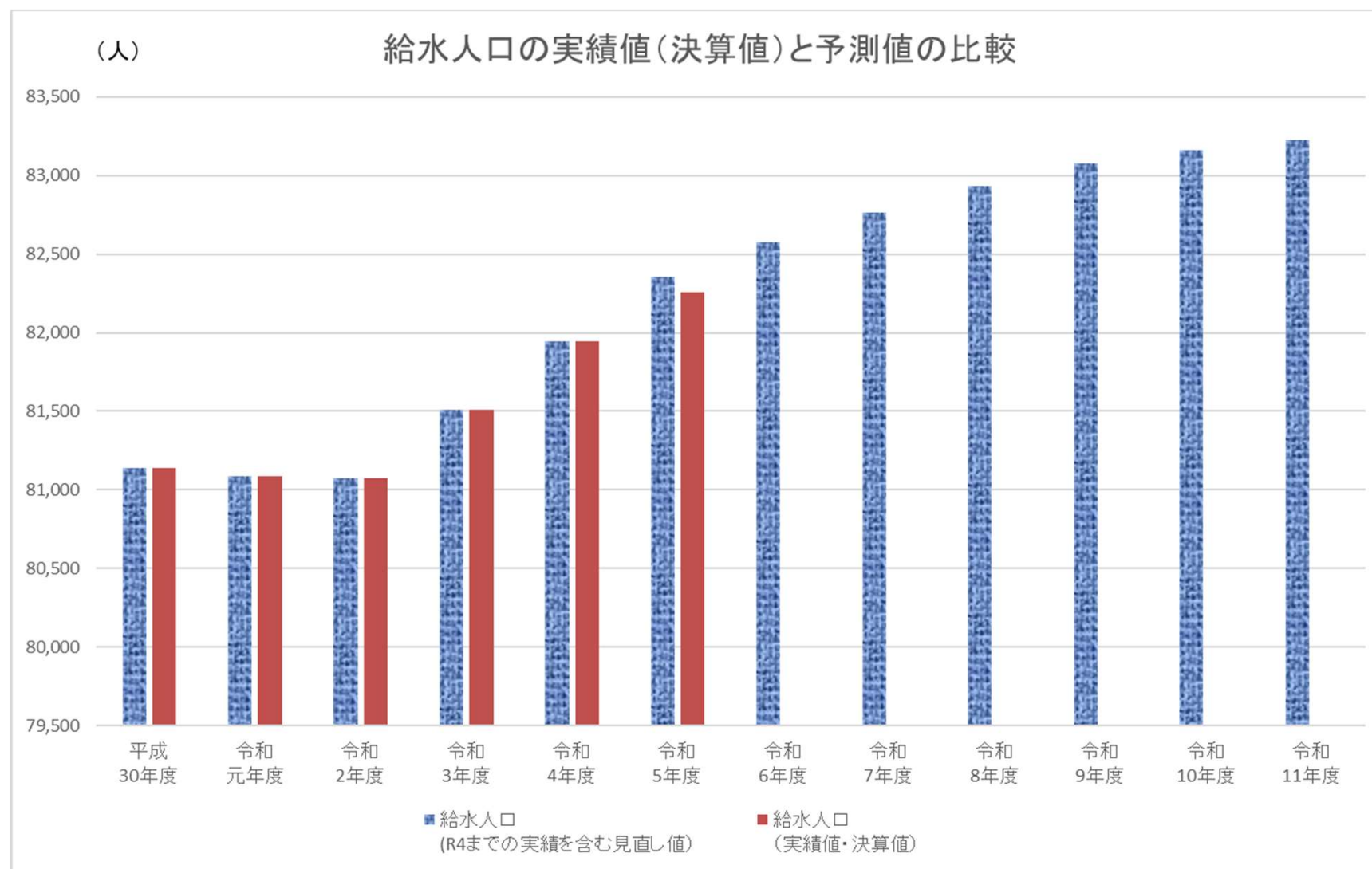
令和6年10月21日 14時00分～

長岡京市上下水道事業審議会



人口と水需要の見込み

ビジョン改訂版 P 6



人口と水需要の見込み

ビジョン改訂版 P 7

有収水量の予測値と実績値の比較



令和5年度有収水量の予測値と決算値の比較

(千 m^3)

	令和5年度 予測値	令和5年度 決算値	予測値と 決算値の比較
営業用ほか	1,132	1,149	17
工場用	893	974	81
家庭用	6,623	6,624	1
合 計	8,648	8,747	99

管路の更新

中間見直し時点の今後の方向性

◎管路の更新については、法定耐用年数による更新を行っていくことだけに捉われず、法定耐用年数に代わる管路の更新基準として、材質（管種）などに応じた実使用年数を用いる等の新たな視点による更新の基準や、老朽化及び重要度等により優先順位の高いものから計画的に進めて行くこと、更には基幹管路にあたる幹線管路の耐震化についても重点的に進めて行きます。



令和5年度 管路の更新の検証

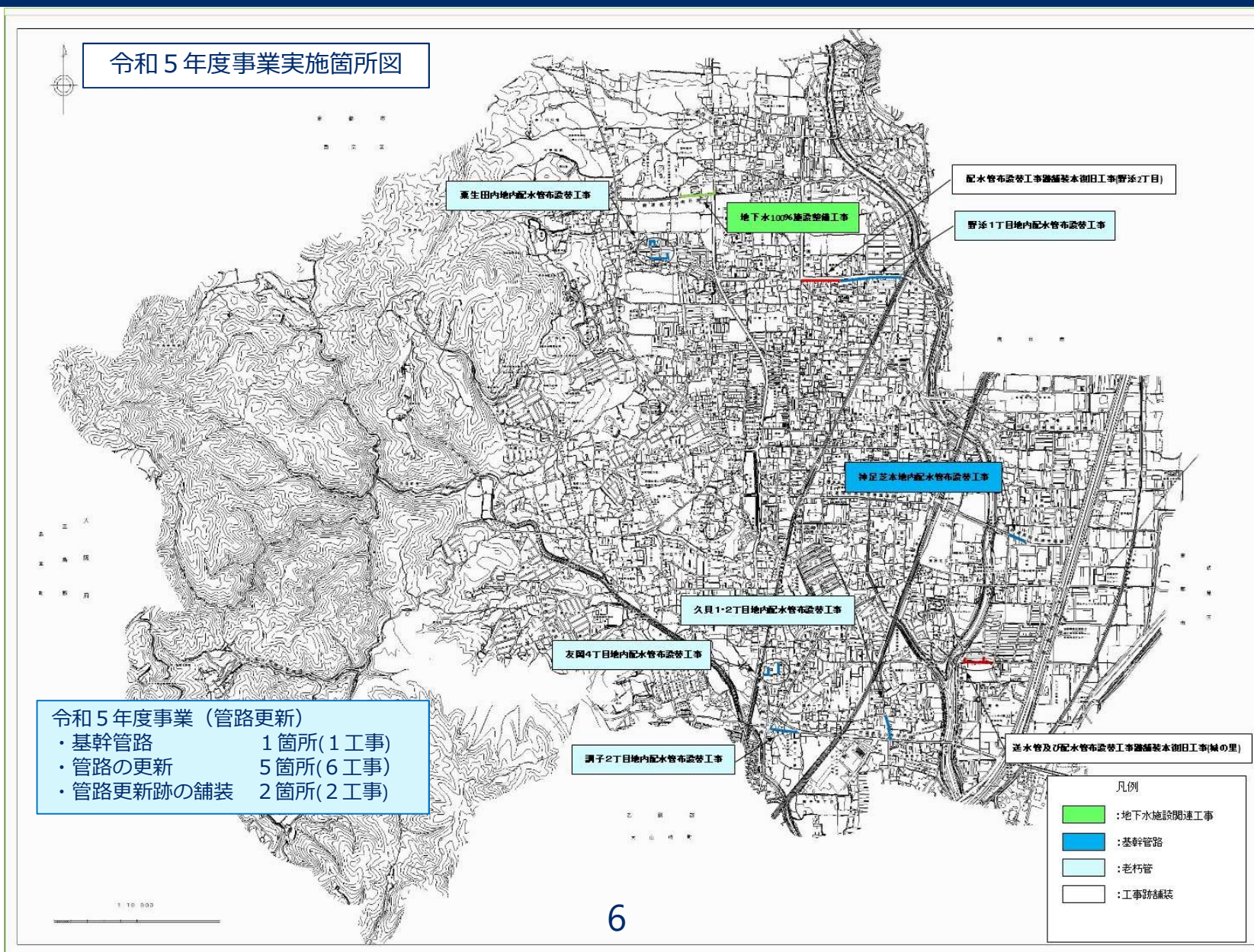
◎令和5年度の関連する事業は次頁に記載の箇所図に示す地域で更新事業を実施しましたが、上下水道ビジョンの中間見直し改訂の検討段階での事業であること、また管路更新以外の大型事業により事業費を抑制したことから、令和5年度末の管路更新率は0.43%となりました。

☆**管路更新率** = $1.241\text{km}(\text{更新された管路延長}) \div 288.626\text{km}(\text{前年度末管路延長}) = \mathbf{0.43\%}$
(令和4年度末 管路更新率0.45%)

参考：法定耐用年数を超過した管路率は24.7%（令和4年度末24.5%）

管路の更新

ビジョン改訂版 P 8



職員の現状

ビジョン改訂版 P 10

職種別職員構成

年度	職名	事務	技術	技能	計
22		7	17	2	26
23		7	16	3	26
24		9	14	3	26
25		9	15	2	26
26		10	14	2	26
27		10	12	2	24
28		9	13	2	24
29		9	14	1	24
30		8	14	1	23
元		9	13	1	23
2		9	13	1	23
3		9	13	0	22
4		9	13	0	22
5		11	12	0	23

※水道事業管理者・会計年度任用職員・再任用職員を除く、水道事業会計所属職員。

二元水源の確保

ビジョン改訂版 P 12

〔給水量内訳〕

項 目			4年度 決 算 ①	5年度 決 算 ②	比 較 増 △ 減 ② - ①	
自己水(地下水)	③	(m³)	3,440,107	4,064,152	624,045	18.1 %
府営水 (表流水)	大口5社	④ (m³)	593,972	754,401	160,429	27.0 %
	一 般	⑤ (m³)	4,934,268	4,259,446	△ 674,822	△ 13.7 %
	計	⑥ (m³)	5,528,240	5,013,847	△ 514,393	△ 9.3 %
合 計	⑦		8,968,347	9,077,999	109,652	1.2 %
市民向けブレンド割合		(%)	58.9	51.2	△ 7.7	—

※ 市民向けブレンド割合算式 $[(5) \div (3 + 5)]$

※ 令和4年度の市民向けブレンド割合については、令和3年10月から令和4年5月までの東第2浄水場の耐震補強他工事に伴い浄水機能を停止したため、停止期間は100%、再開後の6月から令和5年3月までは51.4%となりました。

地下水質の常時監視

本市で策定した水質検査計画では、水道法に基づく水質法定検査（市内9箇所の給水栓で毎日検査（色度、濁度、残留塩素）、毎月検査、毎年検査の実施）を行い、加えて、独自で井戸ごとの原水についても水質検査を定期的の実施し、水質の安全確保を行いました。

今後も地下水の保全、水質検査を継続して行い、新たな項目にも注視し必要に応じて対応し、水質の安全確保に取り組んで参ります。

※ 市内9箇所（東ポンプ場、東第2浄水場、調子公民館、神足共同墓地、乗願寺、金ヶ原自治会館、泉が丘南公園、西の京自治会館、柴の里公園）



【業務指標実績値】

業務指標		令和 2年度 実績値	令和 3年度 実績値	令和 4年度 実績値	令和 5年度 実績値
貯水槽水道指導率 (%) (A205)		79.1	77.9	77.6	98.4
直結給水率 (%) (A204)		97.8	97.7	97.8	97.8

貯水槽水道指導率

・貯水槽水道指導率の捉え方を改め、簡易専用水道については検査済の確認できている件数も含めることとしたため、貯水槽水道指導率は令和5年度で98.4%となりました。

※貯水槽内訳

- ・小規模貯水槽 466件(指導件数 466件)
 - ・簡易専用水道 151件(検査実施済件数141件)
- 計 617件(607件) ⇒ **指導率98.4%**

直結給水率

・直結給水は契約件数から貯水槽数を除いた割合として、令和5年度は97.8%となりました。令和6年度目標の98.5%、令和11年度99.0%の目標に向け、新規の土地利用計画に伴う相談を受ける際は衛生面の観点からも、マンション等の大規模開発等のやむを得ない場合を除き、受水槽の設置を極力控えるよう指導してまいります。

※直結給水内訳

- ・全契約件数 27,520件
- ・貯水槽件数 617件

直結給水率 $(27,520 - 617) \div 27,520 = 97.8\%$

鉛製給水管の取り替え促進

【業務指標目標値】

業務指標	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	令和元年度 (現ビジョン) 目標値	令和 6年度 中間目標値	令和 11年度 計画目標値
鉛製給水管率 (%) (A401)	12.4	11.7	6.0	6.0	0.0

【実績値】

業務指標		令和 2年度 実績値	令和 3年度 実績値	令和 4年度 実績値	令和 5年度 実績値
鉛製給水管率 (%) (A401)		7.5	6.0	5.4	4.6

・ 令和5年度の鉛製給水管解消件数は205件、鉛製給水管率は0.8%減少し4.6%となりました。

また、業務指標の数値には出ておりませんが、以前の審議会で説明を行っておりました、メーター周辺に残存している件数については、令和4年度末現在で4,420件ございましたが74件減少し、4,346件に解消しました。



鉛製給水管解消工事
(メーター周辺の残存解消状況)

施設の耐震化

【業務指標目標値】

業務指標	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	令和元年度 (現ビジョン) 目標値	令和 6年度 中間目標値	令和 11年度 計画目標値
配水池の耐震化率 (%) (B604)	98.6	98.6	—	98.6	100.0

【実績値】

業務指標		令和 2年度 実績値	令和 3年度 実績値	令和 4年度 実績値	令和 5年度 実績値
配水池の耐震化率 (%) (B604)		75.7	75.7	98.6	98.6

・ 令和5年度は、配水池関連の事業は実施しておりません。

基幹管路の耐震化

【業務指標目標値】

業務指標	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	令和元年度 (現ビジョン) 目標値	令和 6年度 中間目標値	令和 11年度 計画目標値
基幹管路の耐震適合率 (%) (B606-2)	47.9	48.1	—	52.0	55.0

【実績値】

業務指標		令和 2年度 実績値	令和 3年度 実績値	令和 4年度 実績値	令和 5年度 実績値
基幹管路の耐震適合率 (%) (B606-2)		49.4	49.9	50.5	50.6

・令和5年度の基幹管路耐震適合率は、令和4年度から0.1%(耐震化整備延長 配水管φ300mm 56m)上昇し**50.6%**となりました。

基幹管路は口径も比較的大きいことから、配水池や浄水場周辺、また比較的道路幅員の広い道路に埋設されており、他企業の管路も輻輳していることから、ルート選定や埋設深さの検討が難しい工事ではありますが、幹線管路として重要な役割を担う管路であることから、今後は優先的に整備を実施していく予定であります。

◎令和5年度末現在の基幹管路延長 51,854km (うち、耐震化済延長26,242km)



基幹管路耐震化整備工事

主要幹線管路の計画的更新

ビジョン改訂版 P 20

【業務指標目標値】

業務指標	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	令和元年度 (現ビジョン) 目標値	令和 6年度 中間目標値	令和 11年度 計画目標値
管路の更新率 (%) (B504)	0.51	0.95	—	0.70	1.00

【実績値】

業務指標		令和 2年度 実績値	令和 3年度 実績値	令和 4年度 実績値	令和 5年度 実績値
管路の更新率 (%) (B504)		0.51	1.15	0.45	0.43

- ・ 令和5年度の管路更新は、6箇所7工事を実施しました。(本資料P.3参照)
 管路の更新延長は1.241kmであり、対象箇所の管路は布設年度が昭和46年から56年と布設から40年以上が経過した管路ばかりであります。
 ※参考：令和4年度末の管路総延長 286.626km

漏水調査の継続

【業務指標目標値】

業務指標	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	令和元年度 (現ビジョン) 目標値	令和 6年度 中間目標値	令和 11年度 計画目標値
有収率 (%) (B112)	93.2	93.4	92.7	93.5	94.0

【実績値】

業務指標		令和 2年度 実績値	令和 3年度 実績値	令和 4年度 実績値	令和 5年度 実績値
有収率 (%) (B112)		96.0	96.5	96.3	96.3

・令和5年度の有収率についても、令和4年度と同様に96.3%と安定した有収率となっており、漏水調査の頻度を延伸しながら管路の維持管理を行っております。

しかしながら、小規模な漏水は月に数回程度発生しており老朽管路の更新や鉛製給水管の更新が急務な状況でもあります。

また、今後は有収率に関連しない管路（井戸から浄水場までの導水管）についても漏水調査を実施していく予定であり、管路の保全に努めてまいります。

※令和5年度有収率

年間有収水量：8,746,586m³・・・①

年間配水量：9,077,999m³・・・②

有収率 ①÷②×100 = **96.3%**

令和5年度

◎日本水道協会 京都府支部の防災訓練に参加

令和5年11月 9日 庁舎内にて情報伝達訓練

訓練内容：日本水道協会からのメールに指定の時間内に返答する。状況報告を定型の様式で行う。

目的：災害時に日本水道協会と市町間で情報伝達が遅滞なく行えるかを確認するため。

令和5年11月10日 応急給水訓練 2名参加 1 t 給水車

（於：京丹波町）

訓練内容：指定の浄水場で給水し、広場で給水を行う。

目的：各市町が指示どおりに給水が行えるか確認するため。

参加団体 正会員 1府15市8町 計24団体

適正な料金算定と料金体系の見直し

ビジョン改訂版 P 24

【業務指標目標値】

業務指標	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	令和元年度 (現ビジョン) 目標値	令和 6年度 中間目標値	令和 11年度 計画目標値
経常収支比率 (%) (C102)	110.3	107.4	100以上	100以上	100以上
給水原価 (円/ m ³) (C115)	192.3	198.6	抑制	抑制	抑制

業務指標		令和 2年度 実績値	令和 3年度 実績値	令和 4年度 実績値	令和 5年度 実績値
経常収支比率 (%) (C102)		106.5	101.5	99.1	102.2
給水原価 (円/ m ³) (C115)		187.3	192.8	196.3	190.91

令和5年度予測値 91.34

令和4年度には物価高騰などの社会情勢を受け経常収支比率は100%を下回りました。令和5年度予測値は、物価高騰が継続する見込みをしており、経常収支比率も91.34と予測していましたが、令和5年度決算では102.2%となりました。理由としては、令和5年度に動力費（電気代）の政府補助があり、動力費の減少があった事と大口5社などの工場用などの水量が増加し、結果として料金収入が予測より増加したことがあげられます。

遊休地の利活用

○現在予定されている遊休地売却案件と予定

海印寺7号取水井戸	・・・	令和6年度解体 令和7年度公売予定
-----------	-----	----------------------

東ポンプ場	・・・	令和7年度解体 令和8年度売却予定
-------	-----	----------------------

長法寺4号取水井戸	・・・	令和8年度解体 令和9年度公売予定
-----------	-----	----------------------

再生可能エネルギーの活用による環境への負荷の低減を図ることから、設置した太陽光パネル（太陽光発電設備）では、令和5年度の年間では、21,524KWhを発電 東第2浄水場で消費する約0.87%の電力量を賄いました。

民間からの出資により設置した小水力発電設備では、再生エネルギー比率の向上に取り組みました。

太陽光発電設備 東第2浄水場



小水力発電設備	北ポンプ場	東配水池
発電量（R5年度）	159,117 kwh	74,022 kwh
導入時期	平成30年4月	令和3年2月
有効落差	41m	24.3m

適正な人員確保と人材育成の充実

【業務指標目標値】

業務指標	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	令和元年度 (現ビジョン) 目標値	令和 6年度 中間目標値	令和 11年度 計画目標値
外部研修時間 (時間/人) (C202)	6.3	6.9	5.0	8.0	8.0
技術職員率 (%) (C204)	54.2	50.0	60.0	60.0	60.0

業務指標		令和 2年度 実績値	令和 3年度 実績値	令和 4年度 実績値	令和 5年度 実績値
外部研修時間 (時間/人) C202)		3.8	9.0	8.7	7.8
技術職員率 (%) (C204)		56.5	59.1	59.1	52.2

- ・ 外部研修時間については、令和5年度はweb研修から対面研修に戻る傾向があり、複数人同時に視聴していた研修が現地参加により人数が減少した事と、市役所内での研修が無かった事で時間数の減少となった事が要因の一つと考えられます。外部研修の件数については令和4年度と件数は変わっていません。
- ・ 技術職員については、分母となる全体数が1名増えたことと、異動により技師のかわりに事務職が配置されたことにより割合が減少しています。

法令遵守の推進、お客様サービスの充実

《法令遵守の推進》

上下水道部では令和5年度8月と2月に法令遵守研修を行いました。

- ・ 8月の研修では4つのチームに分かれ、「公務員としての守るべき倫理」をテーマにグループ討議し、研修の最後に発表を行いました（下記写真）。
- ・ 2月の研修では、リスク管理チェックシートを使用し、遵守できていない項目について各係内で話し合いました。



令和5年8月の倫理研修の様子

身近な事件などについて話し合い、お互いの倫理感を確認しました。また、チーム分けをランダムに行ったことで、普段仕事以外で接点の無い職員同士が話し合う機会ができ、自分の所属する課以外でも相談できるきっかけを作ることができました。

《お客さまサービスの充実》

引越しの件数が多くなる3月からLINEによる開閉栓業務を始めました。この事により、スマートフォンで申し込みが可能となり、一問一答で入力することで心理的負担を軽くし、また門標番号を入力することにより住所などの長文を入力する手間を省きました。

また、これまで手入力で料金システムへの入力を行っていましたが、LINE受付した内容はCSV形式で出力することができ、それを料金システムに取り込めるようにするシステム改修も同時に行いました。この事により、手入力での誤入力を防ぐことができたことと入力時間の短縮が可能となり業務改善を図ることができました。

かしこ暮らしっく 長岡京

水だより

水都(MITO)ちゃん

第82号

令和6年3月1日発行

発行 長岡京市上下水道部
長岡京市開田一丁目1番1号

給水人口	82,300人 (令和6年2月1日現在)
給水量	6,804,280m ³ (令和6年4月～令和6年12月)
下水道普及率	99.9% (令和5年10月1日現在)

かんたん! 来庁不要! スピーディー!

水道の開栓・閉栓の手続きが
LINEでできるようになりました

こんな時に便利!

- 異動
すぐに転出しないといけないとき
- 仕事や育児、介護で忙しいとき
- 体調が悪いとき
- 手続きの内容をあとで確認できる!

広報活動の充実による情報公開の推進

ビジョン改訂版 P 33

【業務指標目標値】

業務指標	平成 28年度 実績値	平成 29年度 実績値	令和元年度 (現ビジョン) 目標値	令和 6年度 中間目標値	令和 11年度 計画目標値
広報誌による情報の提供度 (部/件) (C401)	8.0	13.3	—	8.0	8.0
水道施設見学者割合 (人/千人) (C403)	0.11	0.17	0.6	0.6	0.6

業務指標		令和 2年度 実績値	令和 3年度 実績値	令和 4年度 実績値	令和 5年度 実績値
広報誌による情報の提供度 (部/件) (C401)		12.0	9.3	8.1	9.4
水道施設見学者割合 (人/千人) (C403)		0.0	0.0	0.0	0.2

- ・令和5年度の実績としては令和4年度を上回っていますが、昨今のペーパーレス化や情報提供のスピードアップを考慮して令和6年度については印刷回数を年3回から年2回とし、HP上での情報提供を積極的に図っていく事としました。今後は目標値8.0を下回る事が想定されます。
- ・コロナ禍の影響で令和2年度から0となっていました。令和5年度は水道施設見学者受け入れを再開しました。また、令和5年11月15日号の水だよりで浄水場の特集をくみ、積極的に浄水場の紹介を行いました。